

研修報告

(誠和クラブ 遠藤 亘)

≪研修日程≫

研修・視察 月 日	研修・視察先	研修・視察施設	研修・視察内容
7月22日 (水)	京都 JA ビル	地方議員研究会	基礎から学ぶ AI を使った議員活動実践講座 AM：質問編 PM：財政分析編
7月23日 (木)	京都 JA ビル	地方議員研究会	基礎から学ぶ AI を使った議員活動実践講座 AM：公共施設編 PM：資料活用編

≪研修内容≫

1. 地方議員研究会

●研修、視察目的

AI を活用し議員活動を幅広く短期間で習得するため

●説 明 者

地方議員研究会事務局長 黒瀬 雄大氏

●説明概要

○質問編

- 1.AI で一般質問のテーマを広げる方法
- 2.住民相談や地域課題を質問に変える視点
- 3.執行部に届く質問文を組み立てるコツ
- 4.再質問や切り返しを AI で準備する方法
- 5.質問の質を高めるための AI 活用の注意点

○財政分析編

- 1.予算書・決算書を AI で読み解く基本
- 2.財政資料から異変や課題を見つける視点
- 3.数字を比較して政策課題を整理する方法
- 4.一般質問につながる財政分析の進め方
- 5.AI を使う際に外してはいけない確認ポイント

○公共施設編

- 1.公共施設の課題を AI で整理する方法
- 2.老朽化・再編・維持管理の論点をつかむ視点
- 3.学校・庁舎・公民館など施設別の見方
- 4.公共施設マネジメントを質問につなげる方法
- 5.住民目線で施設課題を深掘りするコツ

○資料活用編

- 1.行政資料を AI で素早く整理する方法
- 2.長い資料から要点を抜き出す実践手法
- 3.議会答弁や計画書の比較整理の進め方
- 4.政務活動報告書や視察資料への活用法
- 5.情報の正確性を担保するチェックの考え方

●考 察

令和 8 年 7 月 22 日及び 23 日に開催された「議員活動実践講座」に参加し、AI を活用した一般質問の作成方法、財政分析、公共施設マネジメント、資料整理・活用手法について学んだ。講師は元自治体職員、元市議会議員、さらに IT コンサルタント及びデータサイエンティストとしての経験を持つ黒瀬雄大氏であり、自治体実務と議会活動の双方の視点から、AI を議員活動へどのように活用すべきかを具体的に学ぶことができた。

初日の研修では、AI を活用した一般質問の作成方法や財政分析について学んだ。一般質問においては、住民相談や地域課題を単なる要望として終わらせるのではなく、政策課題として整理し、執行部へ具体的な改善提案として届けることが重要であることを再認識した。また、AI を活用することで、多角的な視点から論点整理を行い、再質問や切り返しまで事前に想定できることは、質問の質を高めるうえで非常に有効であると感じた。

一方で、AI が提示する内容をそのまま使用するのではなく、事実確認や地域の実情との整合性を必ず確認する必要があることも重要な学びであった。議員の役割は住民の声を代弁し、地域課題を解決へ導くことであり、AI はあくまで補助的なツールである。最終的な判断や責任は議員自身が負うものであり、その認識を持ったうえで活用していく必要があると感じた。

財政分析の講座では、予算書や決算書を単に読むだけでなく、経年比較や他自治体との比較を行い、数値の変化から政策課題を読み解く視点を学んだ。財政資料の中には、将来的な行政課題や事業見直しの必要性を示す兆候が多く含まれており、それらを一般質問や政策提言につなげることが重要であると理解した。特に、限られた財源の中で持続可能な行政運営を実現するためには、議会としても財政状況を正確に把握し、根拠に基づいた議論を行う必要性を改めて認識した。

2日目の公共施設編では、老朽化や人口減少に伴う施設再編、維持管理費の増加など、全国の自治体が直面している課題について学んだ。学校、公民館、庁舎などの公共施設は、住民生活に欠かせないものである一方、将来的な人口構造や財政状況を踏まえた適正配置も求められている。施設の存続だけでなく、住民サービスをどのように維持するのかという視点を持ち、住民目線と行政経営の双方から議論する必要性を強く感じた。

また、行政資料の整理や視察資料、政務活動報告書へのAI活用について学んだことは、今後の議員活動に直結する内容であった。膨大な資料から要点を整理し、計画書や答弁内容を比較・分析することで、より効率的かつ質の高い調査研究が可能になると感じた。ただし、ここでも正確性の確認が不可欠であり、AIによる要約や分析結果を鵜呑みにするのではなく、原資料に立ち返って確認する姿勢が重要である。

今回の研修を通じて、AIは議員活動を大きく支援する可能性を持つ一方で、その活用には高い倫理観と情報確認能力が求められることを学んだ。住民の声を的確に把握し、財政や公共施設などの行政課題を客観的に分析し、政策提言へ結び付けていくための手段としてAIを積極的に活用したい。また、研修で得た知識や技術を安来市議会における一般質問、政策立案、視察報告、住民説明などに生かし、市民にとって分かりやすく、根拠に基づいた議員活動に取り組んでいきたい。